

二学期が始まりました

1学期の終業式では、「さわやかさ」を持って生活しようという話をしました。2学期の始業式では「他の人に好感を持たれるようになろう」という話をさせていただきました。一部紹介します。

(省略)

これまで、学校を変えるのは生徒のみなさんの力は大きいという話をしてきました。私も、先生方と協力しながら、みなさんが小島中学校を卒業してよかったと思えるような学校を目指してきました。3年生を送り出す時、私たち教職員がよかったなと思えることとはどんなことだと思いますか。あるいは、久しぶりに遊びに来た卒業生を見て安心する瞬間はどのような時だと思いますか。1学期の終業式の時、「さわやかさは大切です」という話をしましたが、若干関係はあります。それは、みなさんを「この生徒は、社会人としてやっていける」と思えるようにして卒業させたいということです。

それでは、社会人として必要な大切なものとは何でしょうか。インターネットで「社会人としての資質」と調べてみました。すると、

- 主体性：物事に進んで取り組む力
- 実行力：目的を設定し確実に行動する力
- コミュニケーション能力：人との関係性を築く能力
- 課題発見力：現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

- 創造力：新しい価値を生み出す力
- 発信力：自分の意見をわかりやすく伝える力

この7つが多く挙げられていました。確かに、中学生に身に付けてほしい力ではあるのですが、私が思っていることとは違います。

そこで、インターネットで「人に好かれる特徴」と検索してみました。すると、

- 周りの意見をしっかり聞ける聞き上手
- 他人に対して思いやりがある
- 分け隔てなく平等な態度で接する
- いつも笑顔で明るく接する
- 何事にも努力している
- 自分に自信を持っている
- どんな人にも感謝の心を持っている

この7つが挙げられていました。「さわやかさ」もこの中にあてはまると思います。

つまり、2学期の初めにお願いしたいことは、「他人から好感を持たれる人になろう」ということです。これらのことを身に付けることで、社会人としての「礎（いしずえ）」ができると考えられます。言い方を換えれば、「人に好かれれば社会人として何とかやっていける」ということではないかと思えます。この7つに「さわやかさ」を加え、学校だよりで紹介しますので、この中から最低3つを実践してほしいと思います。

(省略)

生徒のみなさんには、上に挙げている「聞き上手」「思いやり」「平等な態度」「いつも笑顔」「何ごとにも努力」「自分に自信を」「感謝の心」「さわやかさ」から3つを意識して実践してほしいと思います。